

日本で最も美しい佐井村づくりビジョン 活動報告会

2月27日(木)、アルサスしおさいホールで「日本で最も美しい佐井村づくりビジョン活動報告会」が開催されました。活動報告会の様子を4月、5月広報でみなさんにお届けします。

第1弾!

日本で最も美しい佐井村づくりに関する活動を報告

美しい佐井村づくりは、基本的に平成30年3月に策定された「日本で最も美しい佐井村づくり」実現のためのビジョン並びにアクションプランに沿って活動が展開しています。

約2年を振り返ってみると「日本で最も小さくかわいい漁村」というビジョンを掲げ、その実現に向けた28のアクションプランのうち、12のアクションプランが始動していました。

活動報告会では、それぞれの取組をダイジェストにし、会場で上映しましたが、今回の第1弾報告では、そのダイジェストの内容をまとめました。

Act.1 プロジェクトチームをつくる

《平成30年10月》

住民有志からなる「日本で最も小さくかわいい漁村づくり推進プロジェクトチーム」が発足。現在、メンバーは33名。

Act.2 プロジェクトハウスをつくる

《平成30年10月》

村が寄贈を受けた旧若山家（マルショウ）をプロジェクトハウスとして活用。

Act.3 学びと実践を続ける

《平成31年4月》

地域の環境について知るため、磯谷地区内で行者ニンニク（キトビロ）の生息について学んだ。



Act.4 Saiチャンネルをつくる

《平成31年4月》

SNSサイト「フェイスブック」で『日本で最も小さくかわいい漁村 青森県佐井村』のページを開設し、写真を交えながら美しい村づくりに関する情報を発信している。

Act.9 魚のブランド化を図る

《平成31年4月》

佐井村産の鮮魚に高付加価値を付けるため神経メ処理を施し、国内外のホテル・飲食店へ出荷。

Act.10 歩いて楽しい場所をつくる

《令和元年10月》

アルサス海側玄関付近にウッドデッキとベンチ、テーブルを設置。地域の方や観光客などがくつろげる休憩場所として整備した。



※日本で最も美しい佐井村づくり
事業補助金活用事業
【事業団体】 佐井村商工会青年部

Act.13 オシャレでライトな漁業体験を提供する

《令和元年7月》

矢越地区でS a i ツーリズム推進事業のモニターツアーを実施。地元漁師の漁船でのクルージングやウニ採り体験のほか、採れたてウニを船上で食するなどの体験メニュー構築を図った。

アジア・欧州系外国人8名が参加。

Act.23 古民家の活用をする

《令和元年11月》

空き家の活用事例や民泊情報など、プロの話聞きながら、学ぶ機会がつけられた。

【実施団体】 一般社団法人くるくる佐井村